

美郷を彩る四季の花木。

美郷にはその名の通り、樹齢何百年という大樹や世界に1本しかないめずらしい桜などがあり、四季を通じて美しい花木を鑑賞できます。

酒谷のオロチカツラ

県指定天然記念物

樹齢約500年、見上げるとヤマタノオロチを想わせるため「オロチカツラ」と名付けられた。新芽が出た3日間ほどは赤、その後、葉の色が黄金色、緑色に変わっていく。落葉時には甘く香ばしい香りが漂う不思議な木として大切にされている。



道の駅グリーンロード大和の桜

ゆったり流れる江の川を背景に桜並木が眺められる。川にかかる橋と遠くの山並み、里山に咲く桜も美しい。旧JR三江線潮駅周辺の桜並木まで車で10分ほどの位置にある。

旧JR三江線潮駅周辺の桜並木

約350本のソメイヨシノが咲く「潮桜のトンネル」と知られ、満開時や桜吹雪が舞う時期は、散歩をする人で賑わう。日帰り温泉や食事もしめる潮温泉からの眺望もおすすめ。



花の谷のシャクナゲ

希少なホンシャクナゲを保護しようと、地域のボランティア活動によって整備された「シャクナゲパーク」。西洋シャクナゲとともに植えられ、4月～6月に可憐な花を咲かせる。



ふるさとおおち伝承館の前川桜

江戸時代後期の面影を残す伝承館（旧前川家住宅）と樹齢約120年のエドヒガンザクラ。満開時、伝承館の縁側で枝垂れて咲く桜を見ながらのランチやお茶はおすすめ。その昔懐かしい景観が第18回しまね景観賞「奨励賞」に選ばれている。



酒谷・光の里

岩が光って里を照らし続けたという「光石伝説」で知られる酒谷の光稲荷のみもと酒谷(光)八幡宮の樹齢数百年の大銀杏。どちらも紅葉が見ごろの時期にライトアップされ、田んぼに張った水に静かに映える「逆さのみもと」「逆さ大銀杏」が美しい。県内外から紅葉狩りに訪れる人も多い。



酒谷(光)八幡宮の大銀杏

光稲荷のみもと

妙用寺のミョウヨウジザクラ

県指定天然記念物

ヤマザクラとヒガンザクラの種間雑種の起源をもつ、世界中でここしかない「ミョウヨウジザクラ」。樹齢500年以上とされ、10本の大枝に分かれる姿は圧巻。夜の妖艶なライトアップも見どころ。



星空とホタルの共演 初夏の「別府・蛍の里」。



石見銀山街道沿いにある美郷町・別府地域は、6月初旬からホタルが飛び交い、晴れた日は星空との幻想的な共演も楽しめる。

やなしお道の山野草。

歴史跡を見ながらハイキングできる「やなしお道」では、厳しい自然の中で自生する美しい山野草を見ることができます。

★山野草は光や温度などの条件から栽培が難しいとされています。たくさんの方が「やなしお道」の自然を楽しむように、山野草の採取はご遠慮ください。



ショウジョウバカマ



タチバナボスミ



シライソウ



コウヤミズキ

手軽に楽しめる半日モデルコース 「やなしお道」ハイキング 体験!!



もともとは「塩」を運ぶ道だったといわれ、江戸時代に銀を運ぶ要路「銀山街道」として整備された「やなしお道」。旅人の気持ちになって約7kmの森林浴を楽しんできました。

今回は「美郷町役場前」バス停から「君谷別府」バス停まで路線バスを利用し、自然歩道入り口から出発。山道といっても整備されて歩きやすく、途中、歴史跡などを説明する看板や道しるべが記されているので迷うことなく安心です。静かな竹林の中で昔の往来を想像しながら



美郷町役場前バス停

君谷別府バス停

自然歩道入口

十王堂跡

七本楨

茶屋屋敷跡

ポウポウ坂

湯抱別れ

やなしお坂

小原河原

美郷町役場前

らの「歴史ハイキング」。今回は春浅い時期でしたが、新緑や紅葉、山野草など、季節ごとの魅力あふれる「やなしお道」に会えそうです。道沿いには土橋や版築工法、一里塚跡などを説明する看板があり、「やなしお道」の知識がなくても十分楽しめます。



空が一気に開け、遠く三瓶山を臨むことができる茶縁原を過ぎると、竹林の中、道が交差する十王堂跡に。静かな歴史の証人であるお茶屋の跡や牛馬に水を飲ませる水溜場が点在しています。約2～3時間の行程なので、午前中に歩いてその後ランチ!がおすすめです。